

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価集計結果

2020年2月実施

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して、基準を満たしている。 市の体育館を借りるなど運動する機会を作っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			利用定員に対して、適切な職員数の配置をしている。 職員の確保に努めている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		手摺などはある。現在は配慮が必要な利用児童はいないが、今後検討が必要。建物の構造上バリアフリー化が困難なため、ご見学・ご契約時に説明を行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々のカンファレンスにおいて、支援に対する改善点などについて話し合いを行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートや個別面談時に意向等を把握し、業務・支援内容の改善を行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価の実施を検討しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内外の研修に参加している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個人・保護者面談記録に基づき、個別支援会議を実施。半年に一度は計画作成をしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			医療機関などの検査結果やVineland-IIを使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別・集団活動共に支援会議等にて企画している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別・集団活動後の評価から、応用的なプログラムを行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中には遠方への外出活動を企画するなど、平日では取り組めないような活動を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			興味を取り入れた個別活動や役割理解を意識した集団活動の取り組みについて計画に記載している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間の引継ぎやカンファレンスにて支援等について確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日のカンファレンスにて振り返りなど支援や様子について情報の共有を図っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人・支援記録を作成し、会議等で改善点などの話し合いを行っている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			生活状況や課題を含めたケース会議を3ヶ月毎に実施し、計画の見直しについて検討を行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか	○			個別支援計画書に沿った活動内容（個別・集団活動）を企画・提案している。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が会議等に参加している。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			情報共有や連携に努めている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童がいらした際は、連絡体制を整えます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今後は積極的に情報共有や連携に努めていきたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、移行される方等はいないが、移行の際は積極的に連携や情報共有をしていきたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各種専門研修に参加。支援センター等の研修を検討中。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後は、交流機会をもち積極的に行事などに参加していきたい。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			事業所部会等には参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談時や送迎時に事業所での様子を伝えたり、自宅での様子を確認し本人の状況等を確認している。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者会を開催している。今後は回数を増やす等、相談しやすい環境を整えていく。
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に規程や支援内容等の説明を行い、同意を得ている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて面談を行ったり、課題やお困りごとに対しての相談に応じている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を開催している。今後は親子で参加できる行事を企画する等、保護者同士の関わりを増やしていける機会を検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		委員会を設置し、定期的にマニュアルの確認を行っている。現在、苦情などはないが発生時にはマニュアルをもとに対応し、迅速に解決できるように努めていく。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にお便りを発行するなど、事業所での様子を含めた情報を発信している。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書庫に個人情報やデータを保管している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳の利用や送迎時に様子を伝えるなど、情報共有を含めた対応を行っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		作品展などの事業所行事を企画し、地域との関わりを増やしていきたい。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員間でのマニュアル確認は行っているが、保護者には説明が不十分。今後は保護者にもご確認していただきたいと思います。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害計画に沿った訓練を行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			委員会を設置しており、定期的にマニュアルの確認を行っている。今後は、自己研鑽を含めた外部研修の参加を検討中。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			研修会を行い、身体拘束について職員に周知している。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	契約時にアレルギーについての確認を行っている。今後、指示書に基づく対応が必要な方がいらした場合には適宜対応する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが発生した際は、書面に記録し会議等で情報共有を行っている。